



会長 楠 英夫 幹事 楯戸 憲一

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2023~2024年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

2023年10月3日 11号
2023年9月26日 第4例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---------------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 楠英夫会長 | 7. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 8. 点 鐘 | 楠英夫会長 |
| 3. 幹事報告 | 楯戸憲一幹事 | 9. ロータリーソング斉唱
(四つのテスト) | |
| 4. 委員会報告 | | | |
| 5. ニコニコ BOX の発表 | 吉田正一副 S A A | | (司会進行：山口裕由 S A A) |
| 6. 来賓卓話 | 特定非営利活動法人 茨城 YMCA 総務主任主事
竹内 光世 様 | | |

本日のプログラム

鶴田一郎 第6分区ガバナー補佐事前訪問、楯戸幹事よりガバナー公式訪問スケジュール説明、その後 柴沼公共イメージ・IT委員長より「MyRotary登録」について解説いたします。

次週のプログラム

10月10日(火)の例会は休会、10月17日(火)は、大久保博之ガバナーの公式訪問日です。全員参加でお迎え致しましょう。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
88	57	6	67.06	2・5・6 8・12	9・10・16・17	11	80.00

【委員会報告】

第12回茨城YMCAチャリティーゴルフ大会コンペのお知らせ

藤田 憲之 ゴルフ同好会幹事

このYMCAチャリティーゴルフ大会の収益は土浦・つくば・かすみがうら・牛久市の社会福祉協議会寄付、並びにYMCAが行っている発達障害児支援のチャリティーゴルフ大会です。

日時：令和5年11月15日(水) 場所：東筑波カントリークラブ

趣旨にご理解、ご賛同を賜り奮ってご参加くださいます様ご案内申し上げます。

【来賓卓話】

特定非営利活動法人 茨城YMCA 総務主任主事 竹内 光世 様



本日はこのようなお話しのお話を設けてくださり、心より感謝いたします。私は茨城YMCAの総務担当の竹内と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、本日のお話ですが、限られた時間の中、私たちの想いを出来るだけ詳細にお伝えするために、茨城YMCAと理念、これまでの活動、そして、これから目指していきたいことについて、お話させて頂きたいと思っております。

まずは私たち茨城YMCAについてお伝え致します。

YMCAは、世界において約180年あまり、日本においては140年以上の歴史を有する、世界的青少年団体で、全世界120カ国の国と地域に存在し、日本においては全国36都道府県に広がっております。茨城YMCAは1994年に任意団体として設立され、1999年にはつくば市で第一号となる、特定非営利活動法人として認証を受けました。以降、青少年健全育成事業を始め、地域住民のための活動を展開し、2021年3月には認定NPO法人として認められました。私たちは社会に実現したい世の中の姿として「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」ことを掲げています。このポジティブネットとは「互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」のことです。この思いがYMCAに関わる一人ひとりに浸透していくこと、そのことを通して社会が前向きに好転していくことを目標としています。

この考えは、ロータリークラブ2023～2024テーマ「世界に希望を生み出そう」につながる思いであります。

この「ポジティブネットのある社会」を実現していくため、私たちは関わる一人ひとりを大切にし、つながりを育み、感謝を伝え合うことを大切にして、子ども達に関わってまいりました。一人ひとりの子ども達、一つ一つのご家庭に寄り添いながら、長期的に子ども達の成長を見守り、成長、個性、良い点を保護者や本人に伝えるだけでなく、関わるスタッフにも共有することで、子ども達に関わる社会全体で、自己肯定感を高め、信頼関係を深め、子ども達の成長に寄り添い続けています。子ども達だけでなく、関わる全ての方が「認め合い、高め合う」ことを目指すことで、YMCAが、子ども達の未来を育む場になると考えます。

次に、私たち YMCA がおこなってきた活動を紹介させていただきます。

「子育て子育て」、「ウェルネス」、「国際」、「チャリティー」の4本の柱をメインにお話しさせていただきます。まずは、核となる「子育て子育て」についてです。

子育て子育てと、言葉が2重になっているようですが、意味が少し違います。子育ては私たちとご家庭で協力して行っていくもの、しかし、子育ては子ども自らが経験し学び、生きる力を得ていくことを指しています。児童クラブ部門では、現在、つくば市・牛久市において3つのセンターと1つの児童館で、委託運営及び指定管理運営をしており、400人を超える子どもを預かっています。私たちの児童クラブでは、集団全体の安全・健康はもちろんのことですが、特に成長に寄り添い、子ども一人ひとり、家庭一つ一つに寄り添った保育を大切にしています。子どもの課題が浮かび上がってきた時、子ども自身と保護者と、共に悩んで解決を目指します。

次に、放課後等デイサービスについてですが、この事業は障害のある子どもたちの支援事業です。この事業は強いニーズのもと展開してきた事業でした。最も大切にしていることは「包括支援」ということです。子ども自身の性格・特性に合わせて、指導やプログラムなど構築するのは前提として。放課後等デイサービスの子どもが、児童クラブの子どもたちとも一緒に遊ぶことも取り入れています。それは、少人数保育で子どもが自分に合うものだけに慣れてしまうのではなく、集団の中で社会性も身に付けていくことを目指しています。

それは障がいのある子ども達の成長につながるだけでなく、児童クラブに所属するいわゆる健全児の子ども達にとっても、学びと成長の多い交流の時間となります。多様性を受け入れつつ、互いを尊重し合うそんな心を育む時間となります。学習支援教室の委託運営を行っているなど、他にも経済的に困難のある家庭へ無料の学習支援も行っています。また、家庭で抱える「不登校」や「障がい特性」などといった子育ての難しさの悩みなども、相談支援として責任をもって寄り添い対応を行っています。

次にウェルネスの分野では、日帰りの「デイキャンプ」、宿泊を伴う「宿泊キャンプ」、スポーツ、リーダー育成、プログラミング、など行っています。ウェルネスとは、よりよく生きていこうという様子を意味しており、わたしたちは「子どもの輝き」を見つけ出すチャンスだと考えています。その日にしかできないプログラムを、その日出会った友達と過ごす。そのようなグループ単位での経験を通して、協力と達成感を味わい、社会性を身に付けていきます。次の宿泊キャンプも、季節に応じたプログラムで（湖でのカヌーや冬のスキー）、子どもが自然体験や野外炊事など、普段の生活では得られない経験を提供する場として貴重であり、毎年応募開始1,2日で枠が埋まってしまうほどのニーズがあります。これらのキャンプなどをリードするのは、ボランティアの学生やOB・OGです。活動を通して、子どもに寄り添う姿勢、グループを支える包容力、そして全体を指揮する力、これらのリーダー性を、私たちの活動の中で学んでもらい、後輩たちへ受け継いでいく。次世代へとバトンを引き継いでいます。私たちの活動には、世界とのつながりがあります。

児童クラブにおいても、国際色を出すように取り組み、国の紹介や、インターナショナルな人材を招くことを通して子どもに人種や言葉などで差別をしない、むしろ興味を抱いていく、そのようなグローバルな指導を行っています。海外で災害があれば、学生や職員を派遣し、その体験を子どもに分ち合ってもらっています。

また、モンゴルの学校との深いつながりがあるので、毎年モンゴルから子どもが来て、児童クラブを利用しているご家庭にホームステイしたりと児童クラブでの交流を行いました。私た

ちは、参加型のチャリティーイベントを行っています。楽しみながら社会貢献をスローガンに、毎年たくさんの参加があるチャリティーランでは、子どもから大人、障がいの有無に関わらず、一体となって走るイベントです。

最後に、茨城 YMCA のこれからの活動で目指すこととお話させて頂ければと思います。

これからも様々なことに取り組んでいきたいと考えております。社会を支える働きの継続・ウェルネス事業のさらなる発展・スポンサーの獲得についてお話します。社会を支える働きの継続についてこれまでの写真にあったように、子ども達に寄り添い、家庭に寄り添い、地域に寄り添う、この活動を引き続き行っていきたいと思っています。社会にとって必要不可欠な働き、エッセンシャルワーカーとしての働きを継続していきます。子どもたちの笑顔、家庭から支えていきたいと考えています。子ども達という未来への希望を育むことで、地域を活性化することにもつながり、社会に希望を生み出す働きになると確信しています。また、ウェルネス事業に関しては、より一層の活動の展開をしていきたいと考えます。このコロナ禍の影響で、大きな打撃を受けたこの数年間。私たち YMCA が打撃を受けるだけでなく、子ども達にとっても自然体験の機会や、グループワークや社会性を身につける機会の喪失も共に起きていました。こんな時だからこそ、茨城 YMCA としては子どもたちの成長のために体験機会の提供をとどめてはいけないと考えています。

経済的な理由でキャンプなどの体験をすることができない子ども達もいます。そんな子ども達を対象に、キャンプの参加費補助を行っています。赤い羽根共同募金会の助成をいただきつつ、集まった募金を参加費補助や学生ボランティアの研修費用に活用させて頂きました。また、文科省の補助をいただき、非課税世帯は無料で参加することができるキャンプを開催できました。こういった経験格差の是正に向けた取り組みは引き続き行って参りたいと思いますが、補助金として補足面を持っていることで、制限を受ける面もあり、独自に募金を集め、参加費補助の仕組みを構築することを検討しています。こうしたキャンプ利用者への補助をより増強するだけでなく、YMCA のキャンプに深くかかわってくれている学生ボランティアにとっても、YMCA でボランティアすることが成長につながり、良き友と出会う、そんな機会のある場所、居場所となれるようにしていきます。

プログラムの企画、運営からかかわる学生たちは、子どもと接しグループワークを深めていくこと、楽しませるプログラムを用意しつつ子どもたちの自主性を応援することの難しさを経験します。しかし、そのキャンプを経験した、あとにまわっている子どもたちの成長に驚き、感動するのです。ボランティアの学生たちが真剣に子ども達に向き合えば向き合うほどその感動は大きくなり、魅力も増していきます。こうした一連のながれは、学生たち自身の成長にも大きな影響を与えます。

全国にある YMCA のつながりを活用した、学生ボランティア同士の交流を通して学生ボランティアの子たちが、全国に仲間を作り、互いに刺激を受け、前を向く機会となりました。こうした学生ボランティアのたちにとって、YMCA が居場所と成長の場となり続けます。ご利用者一人ひとり、ご家庭一つひとつの支えとなり、地域に仕えていくために子ども達の笑顔が溢れ、希望に満ちた社会になっていくために子ども達だけでなく、YMCA を通して関わる大学生ボランティア一人ひとりの成長と居場所となるために活動を続けて参りましたが、ここまで続けてこられましたのも、様々な方からご協力を頂いたからこそです。

ですから、YMCA の働きをますます広げていくためにも、より多くの方にご賛同いただけ

るように伝え続けていきたいと思えます。外に出ていくことも必要です。今回このような場を頂けたことにも感謝いたします。

今後も外に出ていく機会に積極的に参加し、YMCAの働きを知って頂き、社会貢献の一つの形でYMCAにご協力頂けるようになっていきたいと考えております。これから茨城YMCAは前向きに、そして希望を持って活動を進めていきます。そのために、様々なご協力が必要です。YMCAの行っている社会奉仕活動に、ご賛同、ご協力頂ける方は、是非茨城YMCAにご支援の程、宜しくお願い致します。


ご清聴ありがとうございました。




 みつかる。
つながる。
よくなっていく。


**土浦南ロータリークラブ様
茨城YMCAの活動のご紹介**

2023年9月26日
認定特定非営利活動法人
茨城YMCA




本日のお話しの流れ

- ・茨城YMCAと、その理念
- ・YMCAが行ってきた活動
- ・これからの活動で目指すこと



茨城YMCAと、その理念

178年前 1844年 イギリスロンドンにて、YMCA設立
142年前 1880年 日本で最初のYMCA 東京YMCA設立



■ YMCAの存在
世界約120の国と地域
全国36都市、200以上の拠点
70か所以上の児童クラブを運営



茨城YMCAと、その理念

178年前 1844年 イギリスロンドンにて、YMCA設立
142年前 1880年 日本で最初のYMCA 東京YMCA設立
1994年 茨城YMCA設立（任意団体として始まる）
1999年 特定非営利活動法人（NPO法人）と認証（つくば初のNPO法人）
2021年 茨城YMCA 3月に認定NPO法人取得

事業内容一例

子育て支援 青少年健全育成 障がい児者自立支援 社会貢献活動	児童クラブ・保育園他 野外活動・キャンプ他 放課後等デイサービス他 被災地支援他
---	---



お互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」とは…

互いの存在や個性を認め合い、
高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちに
よってつながるネットワーク



世界に希望を生み出そう



お互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

君がいてうれしい

ともに歩むfamily - YMCA

- ・一人ひとりを大切に
- ・人と人とのつながりを育む
- ・感謝を伝え合う

その子ならではの
成長、個性、よいところ

共有

自己肯定感を高める
信頼関係を深める



子育て子育て



ウェルネス

国際協力



チャリティ



- ▶ 児童クラブ
- ▶ 放課後等デイサービス
- ▶ 生涯学習
- ▶ 学習支援・相談支援
- ▶ 幼児教育



児童クラブ

寄り添う保育



放課後等デイサービス

包括支援



学習支援・子育て相談支援

「居ていいんだ」と思える場所



- ▶ デイキャンプ
- ▶ 宿泊キャンプ
- ▶ スポーツ
- ▶ リーダー育成
- ▶ プログラミング



ウェルネス

▶デイキャンプ

グループワーク・社会性



YMCA

ウェルネス

宿泊キャンプ

自然体験・深まる絆



YMCA

ウェルネス

リーダー育成



国際協力

▶国際交流・国際協力 ▶言語教育



YMCA

チャリティー

- ▶チャリティーパザー
 - ▶チャリティーラン
 - ▶チャリティーゴルフ
 - ▶チャリティーコンサート
- ・被災地などへ
⇒ 障がい児・者へ
・経済的に困難のあるご家庭に
・避難民の方々に



YMCA

これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・社会を支える働きの継続
子どもの成長に伴走し、保護者を支え、安心できる場所を提供
- ・ウェルネス事業のさらなる発展
経験格差の是正、プログラムを支える学生ボランティアの成長
- ・スポンサーの獲得
働きを社会に広め、希望を生み出す機会の創出

これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・社会を支える働きの継続
子どもの成長に伴走し、保護者を支え、安心できる場所を提供



これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・ウェルネス事業のさらなる発展
経験格差の是正、プログラムを支える学生ボランティアの成長



- ・経験格差の是正
参加費補助の募金活動
(赤い羽根共同募金会)
- ・体験活動を通じた
青少年自立支援活動
としてのキャンプ開催
(文部科学省)

これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・ウェルネス事業のさらなる発展
経験格差の是正、プログラムを支える学生ボランティアの成長



これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・スポンサーの獲得
働きを社会に広め、希望を生み出す機会の創出

私たちの活動を
社会に伝え
知っていただく



社会貢献の
一つの形として
YMCAを
選んでいただく

これからの活動で目指すこと



ポジティブネットのある豊かな
希望のある社会を目指して

- ・スポンサーの獲得
働きを社会に広め、希望を生み出す機会の創出

皆様から
ご支援を心より
お待ちしております。

YMCA  みつかる。
つながる。
よくなっていく。